ENDURANCE 取扱説明書

Dio110(JF58) hi-POWERBORE UP KIT EF121-K44-A1

このたびは本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただきいつも手元に置いて正しい取扱方法により永くご愛用くださるようにお願い申し上げます。

●作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
●作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めて下さい。
●本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

ご使用の前に必ずお読み下さい。

〇本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本製品を取り付ける場合は、図を参考に作業をして下さい。

〇本書に記載されている以外の工程は車両のサービスマニュアルを参考にして下さい。

〇まず最初にパーツリストを参考にして、同梱部品が全て揃っているか確認をして下さい。

〇本製品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行わないで下さい。

〇当社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。

〇取り付ける前に本製品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄して下さい。

〇エンジンを取外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用して下さい。

〇使用燃料は、レギュラーガソリンです。

〇オイル消費が多くなる傾向にありますので、走行前に必ずオイル量のチェック行って下さい。
オイルが消費している場合には、必ず補給してから走行して下さい。

〇本製品は下記適応車種の専用製品です。他車種には取り付けることは出来ません。

〇エンジンに負荷がかかるような行為（エンジンの過度な空吹かし、急発進、急停止、過度なエンジンブレーキなど）はエンジン本体を壊してしまう恐れがありますので行わないで下さい。

〇製品及び車両のエッジ部にはバリ等がある可能性があります。作業する際にはケガ防止の為、作業用手袋を着用して下さい。

●注意●

※本製品を取付けして、アイドリングストップ機能を使用するとエンジンの再始動時にもたつく感じが出る場合があります。アイドリングストップは使用しないか、ご理解の上使用して下さい。

●保証について

※本製品はレース専用部品になりますので、いかなる場合でも一切の保証はありませんのでご了承下さい。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
※当社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用下さい。

●適応機種 Dio110(JF58) ※左記以外の機種には絶対に使用しないで下さい。
●仕様 ・排気量 123.2cc・ピストン径 φ 53.4

有限会社エンデュランス 〒 350-0822 **埼玉県川越市山田** 1726 TEL049-222-7770 FAX049-226-1625
http://www.endurance.co.jp/

2015.06.29

ENDURANCE

Dio110(JF58) hi-POWERBORE UP KIT　EF121-K44-A1

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

危険：怠ると怪我・事故につながる要注意事項を示してあります。

注意：怠ると部品の損傷などにつながる要注意事項を示してあります。

参考：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

⚠ 警告

1. 国家検定整備士資格が無い方は作業を行わないこと。
技術・知識不足等によるトラブルでの部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

2. 指定車両以外へのパーツ装着の禁止。
製品機能を損なう取付不良により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

3. 製品の分解・加工・改造の禁止。
製品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

4. ガスケット・Oリングなど消耗品等は必ず新品に交換すること。
オイル漏れ等の原因になり、オイルに乗って転倒し怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

5. エンジンオイルはHONDA純正オイルを使用すること。
指定以外のエンジンオイルを使用しますと、エンジンを破損させる場合があります。

6. 組立時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。
破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

7. 指定製品との組み合わせ以外での組立は行わないこと。
破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

8. 各取付ボルト及びナットは、必ず走行前に締め付けの確認をして下さい。
ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

9. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。
排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

10. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。
エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジン及びマフラーは高温になっています。

・近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。
火災の原因になります。

・絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。
火災の原因になります。

⚠ 注意

1. 作業の際は必ず水平な場所で車体を安定させる事。　作業中、車体は倒れて怪我をする恐れがあります。

2. メンテナンスを頻繁に行うこと。　トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

3. オイルの量をこまめにチェックをすること。　トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

注意　慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないで下さい。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。
異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考　エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラE1をご使用下さい。

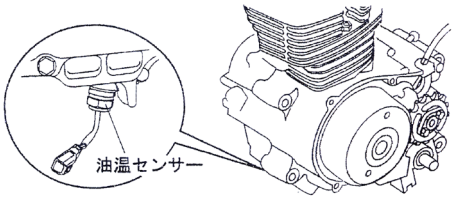
取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認の上作業を行って下さい。

2015.06.29

取り付けについて

以下に記載されている項目は、本製品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本製品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換して下さい。

⚠注意 エンジンを取り外して作業を行う時は、エンジンスタンドを使用して下さい。油温センサーがオイルパンに取り付けられた状態で、床に直接エンジンを置きますと、油温センサーが破損する恐れがあります。



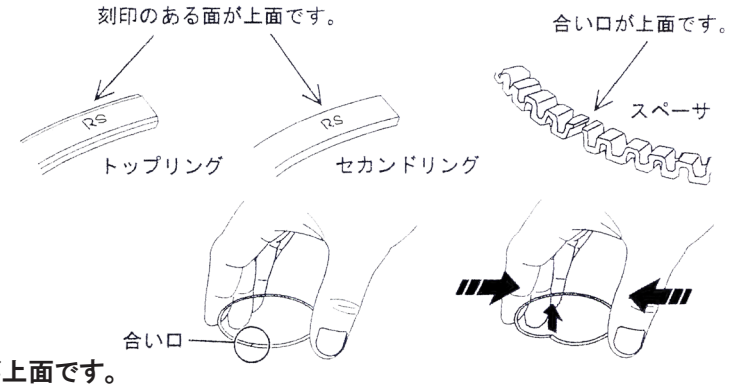
⚠注意 取り付ける前に、本製品を洗浄油・パーツクリーナー等で必ず洗浄して下さい。
特にオイル通路・ピストンリング溝・ピストンリングは、必ず洗浄して下さい。

●分解の前に

■エンジンオイルを抜きます。
■車両のサービスマニュアルを参照にして STDピストンの取外しをします。

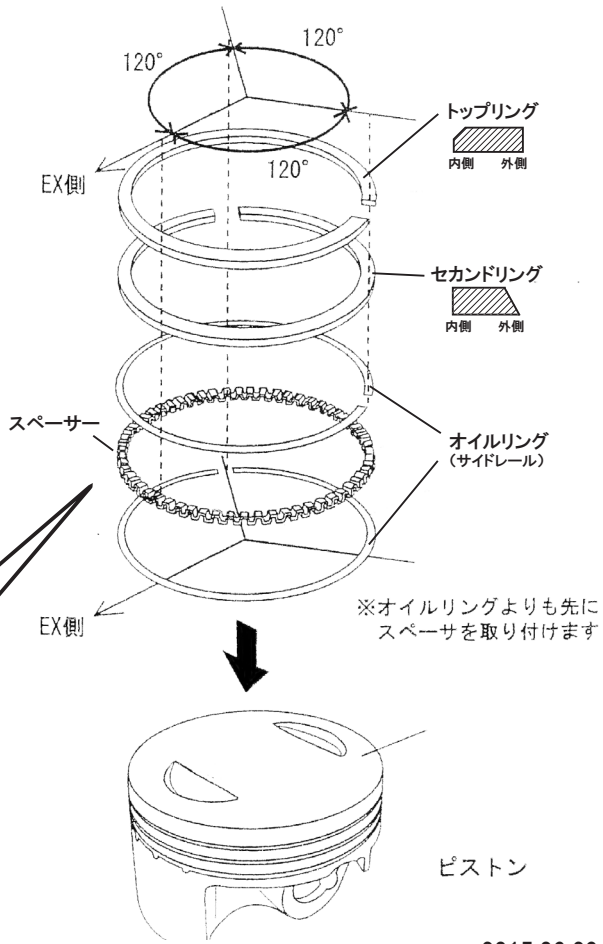
●ピストンリングセットの取り付け

1. ピストンリングとスペーサーの向きを確認します。
ピストンリングは、リングの内側がテーパーになっていて外側が白くなっているのがトップリング、外側が黒いのがセカンドリングです。（右図参照）
どちらも刻印のある面が上面です。スペーサーは合い口が上面です。



2. オイルリング（サイドレール）の向きを確認します。
オイルリングの合い口を密接させ、オイルリングの両面に軽く力を掛けます。
リングの合い口が反った面がスペーサー側となります。

3. 各リングにエンジンオイルを塗布し、スペーサー、オイルリング2枚セカンドリング、トップリングの順でピストンに取り付けます。



⚠注意 ピストンにキズを付けないように取り付けて下さい。

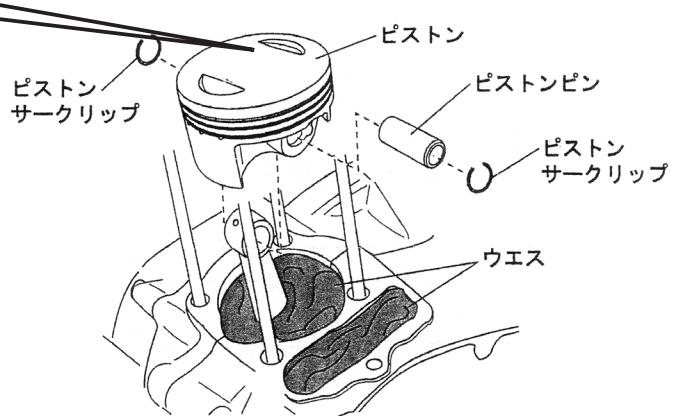
⚠注意 各リングの合い口は、120° 間隔で取り付けて下さい。（右図参照）
各リングを破損させないように取り付けて下さい。

⚠注意 合い口は絶対に重ねないで下さい。

⚠注意 取り付け後、ピストンのリング溝内で各リングがスムーズに動くことを確認して下さい。

2015.06.29

⚠危険 “IN”の刻印がついている方が、インレット側です。



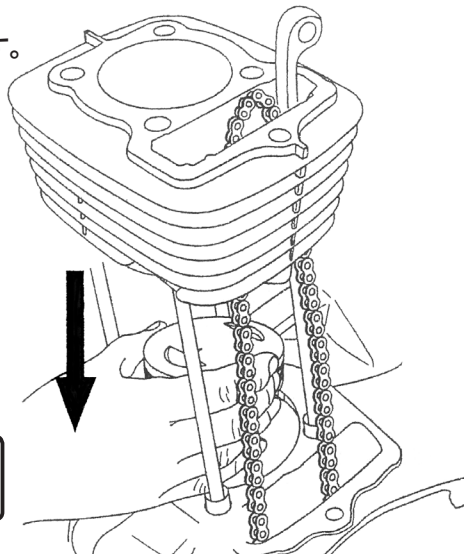
●ピストンの取り付け

1. シリンダー合わせ面のオイル通路に異物が入っていないか点検します。
2. ピストンピン外周部、コンロット小端部及び、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。
3. ピストンをコンロットに取り付け、ピストンピンを取り付けます。
4. ピストンピンクリップを取り付けます。

⚠注意 ピストンピンクリップをクランクケース内に落とさないように、クランクケース開口部をウエスで覆って作業して下さい。
ピストンピンクリップはピストンの溝に確実に取り付けて下さい。
ピストンピンクリップの合い口は、ピストンの切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

●シリンダーの取り付け

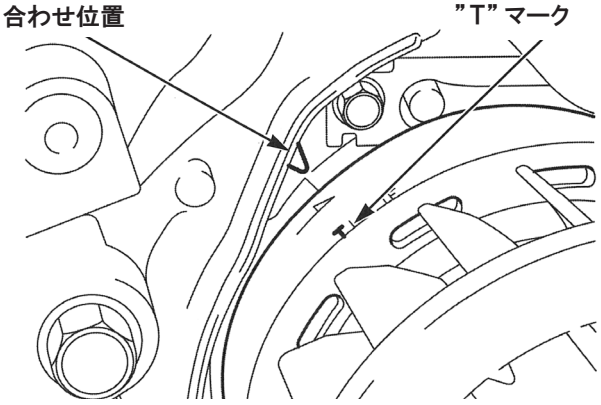
5. シリンダー内部、ピストン外周及び、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
6. カムチェーンをシリンダーに通します。
7. ピストンリングを手で圧縮しながら、シリンダーを取り付けます。



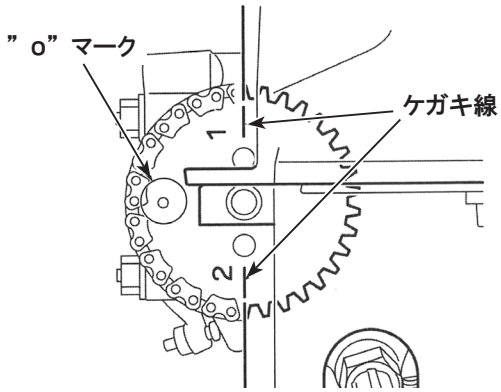
⚠注意 ピストンリングの破損及び、シリンダー内面の損傷に注意して取り付けて下さい。

8. シリンダーヘッドガスケットを取り付けます。
9. 冷却用フィンを動かしながらRH側クランクケースにある合わせ位置に”T”マークを合わせます。（下図）
10. シリンダーヘッドを取り付けます。

バルブクリアランス ＩＮ 0.12±0.02
ＥＸ 0.18±0.02



11.”o”マークが頂点に来たときにケガキ線が揃うようにする。（下図）
”T”マークと合わせ位置が合っていることを確認して
この位置で、カムスプロケットを固定します。
（トルク0.8kgf・m）
12. 車両のサービスマニュアルに沿って、シリンダーヘッドカバーを取り付けます。
13. 残りの組み立ては車両のサービスマニュアルを参照にして組み立てます



⚠注意 ガスケットは、必ず新品を使用して下さい。

2015.06.29

●インジェクターの交換

■付属しているインジェクターに交換します。※インジェクター交換した後にエンジンコントロールユニットの初期化をして下さい。
※初期化については、車両のサービスマニュアルを参考にして下さい。

●エンジンオイルの注入

■新品のエンジンオイルを規定量注入します。※ HONDA 純正オイルを使用して下さい。

●各部の点検

■本製品を取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行って下さい。

・エンジンオイルの量

・各部の締め付け（ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。）

・オイル漏れ、異音の有無と油圧（エンジン始動させ、異音がしなかいかオイル漏れがないか点検します。エンジンの始動と油圧の点検は、下記の「エンジンの始動について」を参照して下さい。）

・その他、走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパットの磨耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検して下さい。

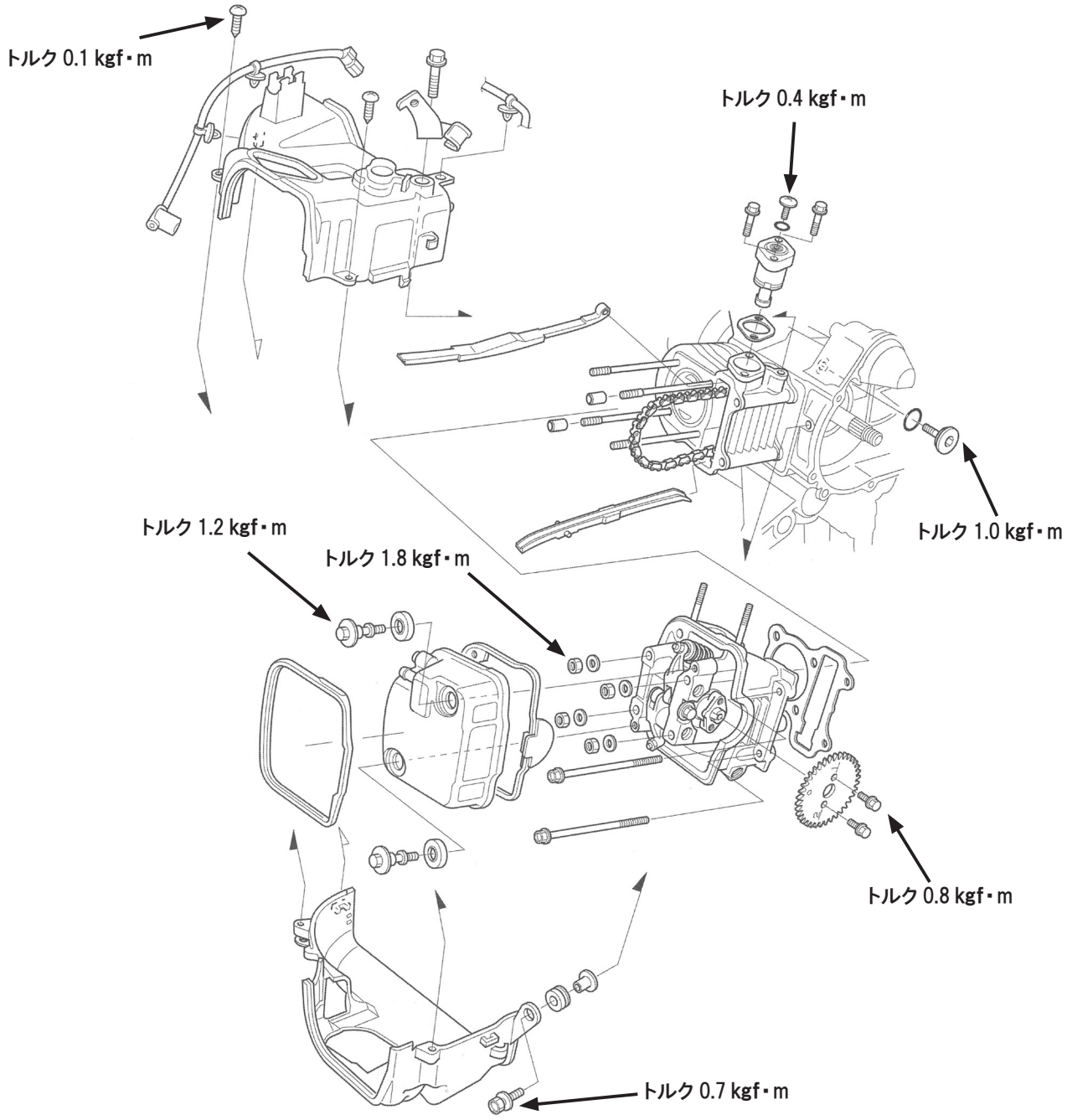
【エンジンの始動について】

■焼き付き、かじり等の防止の為、シリンダーヘッドまでオイルが十分に行き渡る様に、以下の手順でオイル上げ作業を行って下さい。

・エンジンの負担を軽くする為に、スパークプラグを外した状態でクランキング（空回し）を行います。

・数分間放置した後、オイルレベルを点検し、オイルが足りない場合は補充します。

締付けトルクについて



2015.06.29